

# 結果の概要

～平成26年5月分～

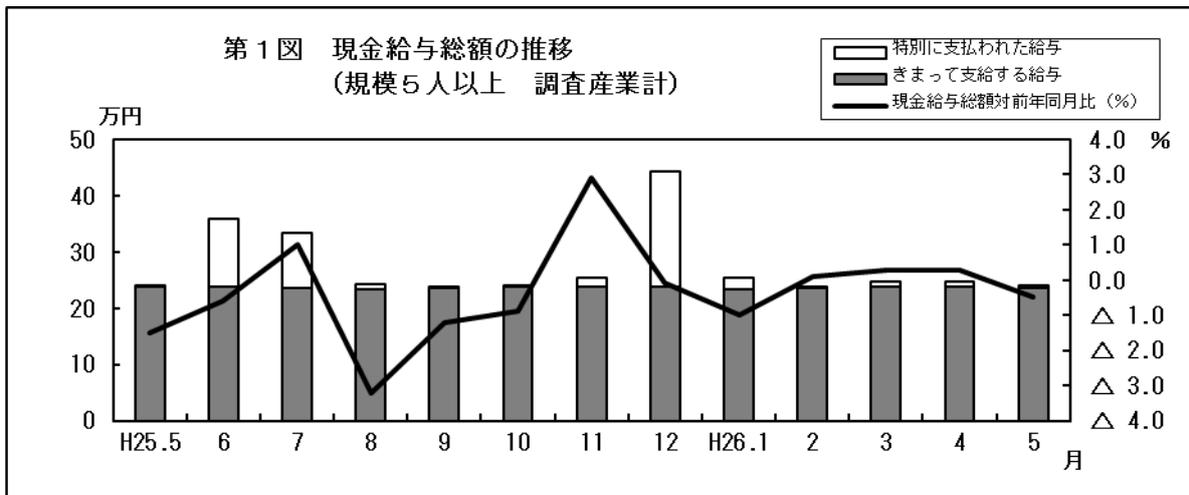
## 1 賃金の動き

5月分の調査産業計の1人当たりの月間現金給与総額は、239,455円となり、その指数は対前年同月比0.5%減（規模30人以上では、259,104円、0.8%減）となった。（第1図、第1・2表）

また、きまって支給する給与（定期給与）は、236,581円、対前年同月比は0.6%減（規模30人以上では、256,435円、1.1%減）であった。（第1・2表）

きまって支給する給与のうち所定内給与は、220,540円、対前年同月比は0.8%減（規模30人以上では、237,431円、1.3%減）であった。（第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の現金給与総額は、329,384円（規模30人以上では、341,119円）、パートタイム労働者は、95,780円（規模30人以上では、109,458円）であった。（表20・21表）



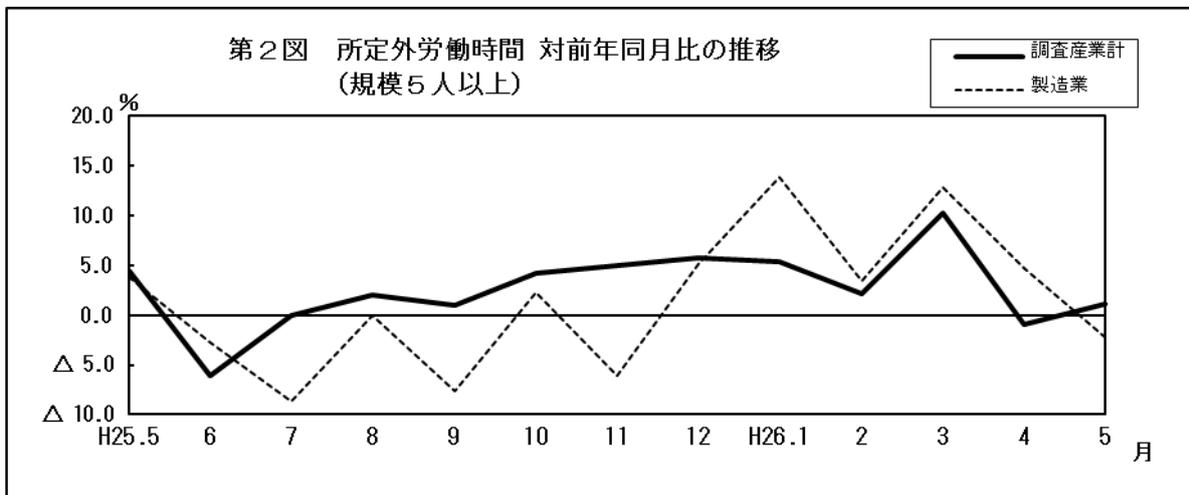
## 2 労働時間の動き

5月分の調査産業計の月間総実労働時間は、134.0時間、対前年同月比は1.8%減（規模30人以上では、138.3時間、3.1%減）となった。（第1・2表）

また、所定外労働時間は、9.5時間、対前年同月比は1.1%増（規模30人以上では、10.3時間、3.8%減）であった。（第2図、第1・2表）

製造業の所定外労働時間は、13.3時間、2.2%減（規模30人以上では、14.3時間、2.1%増）であった。（第2図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者の総実労働時間は、161.8時間（規模30人以上では、158.8時間）、パートタイム労働者は、89.6時間（規模30人以上では、100.8時間）であった。（表20・21表）



### 3 雇用の動き

5月分の調査産業計の推計常用労働者数は、規模5人以上で2,033,909人、対前年同月比は0.4%増（規模30人以上では、1,170,397人、0.6%増）となった。製造業では387,921人、対前年同月比は0.1%減（規模30人以上では、275,118人、0.4%減）であった。（第3図、第1・2表）

就業形態別にみると、一般労働者数は、1,251,179人（規模30人以上では、754,307人）、パートタイム労働者数は、782,730人（規模30人以上では、416,090人）となり、常用労働者中のパートタイム労働者の比率は、調査産業計で38.5%（規模30人以上では、35.6%）であった。（第1・2・20・21表）

